

分類 番号	A14	取組 名称	ICTを活用した薪の地産地消型流通ネットワーク構築による地域経済とCO2削減効果の検証
研究代表者：	生命環境科学研究科	所属・職名：	教授・古田 裕三
研究担当者：	京都府立大学（奥谷三穂、田中誠司） 外部分担者（淵上佑樹氏、井澤佑真氏、田中寛子氏）・協力者（森井一彦氏、藤原健一郎氏、宇野浩嗣氏、西村陽平氏、田中洋一氏、新井友子氏、東本繁和氏、川手光春氏ほか）		
主な連携機関（所在市町村、機関（部署）名）	薪のくらし推進協議会、京都府森林組合連合会、京都府エネルギー政策課、京丹後市、宮津市、舞鶴市、南丹市、長岡京市、宇治田原町、和束町、京都府温暖化防止活動推進センター		
【研究活動の要約】	府域の森林荒廃と森林資源の未利用が課題となっている中、間伐材の有効活用策として薪ストーブ等における薪の利用促進が注目されているが、薪の供給体制が整っておらず、またユーザー側も入手先の情報が得られないなど需給体制の不備が課題となっている。そこで、ICTを活用したネットワークの構築により府内における薪の生産・販売の情報を発信し薪流通の地産地消を促進するため、この研究ではICTネットワークによるCO2削減効果利便性の向上、地域産業への効果を評価し、その有効性を明らかにする。これらの研究成果により、地域資源を活用した再生可能エネルギー導入の促進と新たな地域産業の発展、若者の雇用創出など、幅広く地域資源循環型の社会づくりと地域創生に寄与する。		
【研究活動の成果】	<ul style="list-style-type: none"> ■ 現況調査の実施結果 <ul style="list-style-type: none"> ・ 京丹後市、舞鶴市、長岡京市における薪ユーザー調査（約70件）を実施したところ、コスト軽減のため薪の情報の入手を希望している人が多かったことや近隣に山があるなど自分で薪を調達している人ほど針葉樹の利用が多いことなどが明らかになった。 ・ 府内森林組合等（21箇所）における薪生産・販売の実態を調査したところ、採算ベースに合わないとして実施していない所が多かったが、キャンプ用や宗教用など用途を特定して生産・販売している例もあるなど実態が明らかになった。 ■ 薪のICTネットワーク「まきくも」の構築 http://maki-kurashi.skr.jp/makikumo/ ICTを活用した薪需給ネットワークを「薪のくらし推進協議会」のウェブサイト上に構築し、薪を作る団体とユーザー間での薪の流通量の調査の実施に向けた準備を行った。29年度からは、薪生産・販売業者等にこのネットワークへの参加を呼びかけ、ICTネットワークの効果を検証する。 		
【研究成果の還元】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回薪のネットワーク研究会：平成28年9月9日（金）、京都府立大学稲盛会館会議室、参加者（研究分担者、市町村職員、学生等）12名 ・ 第2回薪のネットワーク研究会：平成29年3月22日（水）、京都府立大学稲盛会館会議室、参加者（研究分担者、市町村職員、学生等）15名 ・ 薪ストーブ講習会：平成28年12月3日（土）、長岡京市西代里山公園、参加者（研究分担者、長岡京市職員、学生、一般参加者等）10名 ・ 森の体験：平成29年3月12日、美山エビスウッドガーデン café、参加者（地元住民、学生等）20名 ・ 薪づくり講習会：平成29年3月19日（日）、左京区吉田山、参加者（研究分担者、京都・薪ストーブ友の会、学生、一般参加者等）20名 <p>* 報告書は作成でき次第「薪のくらし推進協議会」のホームページで公開。http://maki-kurashi.skr.jp/</p>		
【お問い合わせ先】	地域連携センターCOC+ 特任教授 奥谷三穂 Tel: 075-703-5156 E-mail: m-okutani@kpu.ac.jp		

参考 (イメージ図、活動写真等)

■ 薪の ICT ネットワーク「まきくも」の構築 <http://maki-kurashi.skr.jp/makikumo/>

- ① 薪のくらし推進協議会のサイト上に「まきくも」をアップ。② 「まきくも」トップ画面



「これは京都府立大学の ACTR『ICTを活用した薪の地産地消型流通ネットワーク構築による経済効果とCO2削減など環境面における評価の研究』の一環として、薪のくらし推進協議会のwebページ上に製作したものです。」

- ③ 説明画面 ↓



- ④ メニュー画面 ↓



■ 活動写真



H28. 9. 9 第 1 回研究会



H29. 3. 22 第 2 回研究会



H29. 3. 19 薪づくり講習会

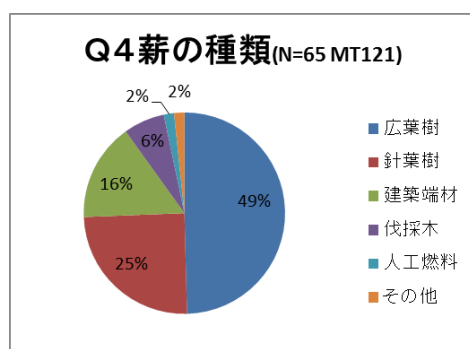
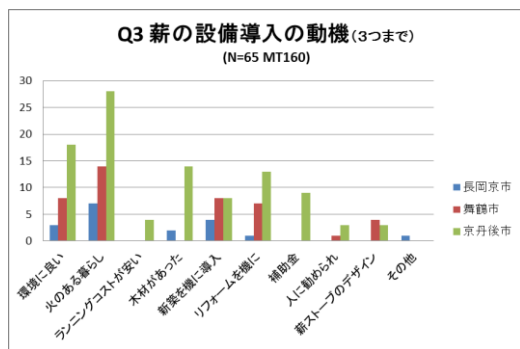


H28. 12. 3 薪ストーブ講習会



H28. 8. 8-9 長野県伊那市での薪流通システム視察調査。薪ストーブの利用率世帯数の 8%。(株)DLDの薪の宅配システムは、薪販売の効率性と安定性の確保に優れている。県内に 23 か所の乾燥場があり、カラマツ・アカマツの端材・被害木がほとんど。

■ 薪ストーブユーザー調査



京丹後市、舞鶴市、長岡京市における薪ユーザー調査 (約 70 件)
 Q3 導入の動機: 第 1 位「火のある暮らしがあった」、第 2 位「環境に良い」
 Q4 薪の種類: 広葉樹が半分を占めるが、自分で調達する人ほど針葉樹の割合が高いことがわかった。